

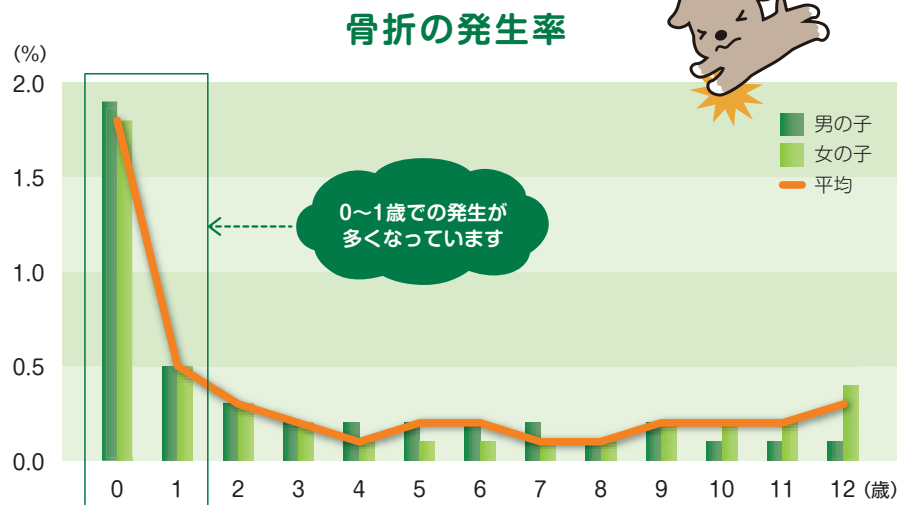
0歳のワンちゃんに多い「骨折」

ワンちゃんの骨折の多くは0～1歳の間に発生しています。

成長期のワンちゃんはまだ骨がもろく、とくに小型のワンちゃんはちょっとした段差などでも骨折してしまうことがあります。

例えば、ソファや食卓用のイスなどの上から飛び降りたり、初めて子犬を迎えた方やお子様を抱っこしているときにワンちゃんを落としてしまうケースがあります。

とくに、床がフローリングのお家では衝撃がそのままワンちゃんの足に伝わり、骨への負担が大きくなります。



もし、骨折してしまったら？

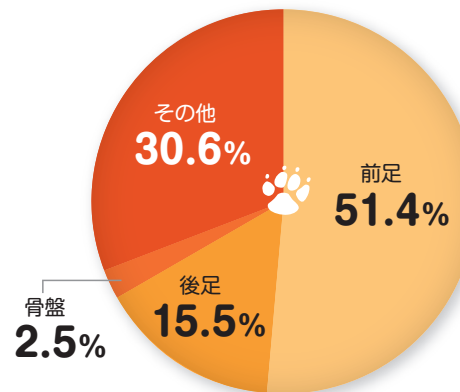
手術をした場合
232,000円

手術なしの場合
58,000円

上記の診療費 (1年間の平均) がかかります。

*アニコム損保の保険金受給額より推定

骨折の発生部位の割合



前足の骨折が約半分!!

骨折の発生部位では前足が約半分を占めています。

ワンちゃんは、両前足をそろえて「ダン」と音を立てるように着地するため、足首とひじの間に大きな負担がかかります。この部位は「とう骨」と「尺骨」という2本の細長い骨で支えられており、体重が数kgの小型犬などは極めて細く、折れやすいのです。

飛び降り事故の時の衝撃により骨折してしまうこともあります。毎日、何度もソファなどからジャンプを繰り返していると、小さい衝撃であっても、それに応じて徐々に骨がもろくなり、疲労骨折を起こしやすくなるとも言われています。



お家でできる 予防策

～室内環境の整備としつけを工夫しましょう～

□ 床がフローリングのお宅

⇒厚手のじゅうたんやカーペットを敷き詰める
家全体に行うことが難しい場合は、よく飛び降りる場所だけでも変えてあげましょう

□ ソファやベッドから飛び降りてしまう

⇒ソファの周囲に階段を設けて、そこを通過して降りるようにさせましょう
あらかじめソファやベッドに上らないようにしつけておくことも有効です

また、交通事故や落下事故による骨折を防ぐために、お散歩時はワンちゃんにリードをつけ、リードが外れないよう、サイズなどに気をつけましょう。

子犬の時期の食事は、栄養バランスの調った食事を与え、骨が健全に発育するようにしましょう。



ワンちゃんの歩き方にいつもと違う様子がみられた場合は、早期治療が予後に影響することもありますので、早めにかかりつけの動物病院を受診しましょう。



より詳しい情報はWEBサイト「どうぶつ相談室」からご覧いただけます。

<http://www.anicom-page.com/labo/2009/04/post-159.html>